

三原市人権文化センターだより

発行/三原市人権推進課 編集/三原市人権文化センター
住所/三原市長谷1-6-1 電話/0848-66-1111

お盆と人権・戦争・平和

8月6日は広島原爆の日、8月9日は長崎原爆の日そして8月15日は終戦の日となっています。8月は「戦争・平和」に深いつながりがあり、8月中旬のお盆の期間は、親戚の方々と会って話をする機会がある人も多いと思います。比較的時間も取りやすいこの時期、次にご紹介する方法などで人権や戦争・平和についてあらためて、ゆっくり考えてみませんか？

●平和ポスター展に行く「広島・長崎原爆写真ポスター、被爆者自らが描いた原爆の絵(複製)など」●

- ①※ 7/30(金)～8/12(木) イオン三原店 1階中央エスカレータ前 (9:00～22:00)
- ② 8/16(月)～8/24(火) 久井保健福祉センター ロビー (8:30～17:15(土・日・祝は除く))
- ③ 8/26(木)～9/1(水) 大和支所 ロビー (8:30～17:15(土・日・祝は除く))
- ④ 9/3(金)～9/12(日) 本郷生涯学習センター インフォホール (9:00～21:00)

※イオン三原店では、「核兵器のない世界へ向けて～オバマ大統領・ローマ教皇の広島訪問など～」の展示を行います。

●戦争・平和に関する書籍を読む、DVDを見る●

- ①流れる星は生きている 偕成社 藤原 てい著「敗戦を満州で迎えた著者の日本までの命がけの逃避行」
- ②いしぶみ ポプラ社 広島テレビ放送/編「昭和20(1945)年8月6日、原爆による広島二中一年生全滅の記録」
- ③この世界の片隅に(DVD) 片渕 須直(かたぶち すなお)監督 こうの史代原作「絵を描くことが大好きな少女・すすが、結婚して築きはじめて新しい暮らし。だが、戦争は次第にすすと家族に迫り…」
- ④火垂るの墓(DVD) 高畑 勲(たかはた いさお)監督 野坂 昭如(のさか あきゆき)原作「空襲で母親と家を失った幼い兄妹に降りかかる悲運を描く名作」 ※①～④のいずれも、三原市立の図書館で借りることができます。

●戦争を体験した人の話を聴く●

お盆の帰省などで、ふだんはあまり会うことがない親せきの方々と、話をする機会も多い時期です。戦争の時代を体験した高齢者の方などに、差し支えない範囲で、話を聴いてみてはいかがでしょうか。戦争を知る人がますます少なくなっている現在において、戦争の話を聴き、それを語り継いでいくことはとても大切なことだと思います。

「生理の貧困」対策

希望者に生理用品を無料で配布しています

三原市は、経済的な理由で生理用品を購入できない人を対象に、生理用品を無料で配布しています。(おひとり1パック)

配布場所 市役所本庁舎1階社会福祉課の窓口及び各支所
社会福祉協議会の三原・本郷・久井・大和地域センター

期 間 8月31日(火)まで

時 間 9:00～17:00(平日)

そ の 他 配布場所に該当する方が取りに来てください。

問 合 せ 人権推進課 男女共同参画係(0848-67-6044)

令和3(2021)年度文化祭の開催について

7月6日(火)に第1回文化祭実行委員会が開催され、今年度は新型コロナウイルス感染を考慮し、縮小開催とすることが決定しました。縮小開催の概要は次のとおりです。

- 1 バザー等はいりません。
- 2 ステージ発表(2階大会議室)及び展示発表を行います。
- 3 ステージ・展示発表は収録し、後日HPで公開します。

※詳細はセンター事務室までお問い合わせください。

【裏面にも記事があります】

人権の碑【大和町】 ～後編～



「からゆきさん おキクの生涯」

大和町棕梨の豊かな田園風景が広がる土地に、「人権の碑」は建てられています。この碑が建てられるきっかけとなった善道キクヨさんは、この地に生まれ、幼くして両親を亡くし、貧困と差別に苦しみながらこの地で育ち、77年の波乱万丈の人生をこの地で終えました。

前月号と今月号の2回にわたり、キクヨさんの生涯と、人権の碑が建立された経緯を、振り返ります。

4 日本へ、そして帰国後の生活

帰国を決心したキクヨさんは、現地でお世話になった方へのお礼と併せて、帰国についての協力と理解を得るため親戚や知人の家庭を回りました。またキクヨさんの仲間が多く眠っている日本人墓地へも訪れ最後の別れを惜しましました。

そして昭和48(1973)年5月23日キクヨさんを乗せた飛行機は、マレーシアを飛び立ち同じ日に羽田国際空港に無事到着しました。とうとう57年の歳月を経て、キクヨさんは日本に帰国することができたのです。タラップから降りると、待ち構えていた報道陣のカメラからフラッシュが一斉にたかれ、また「キクヨおばあさん おかえり ごくろうさん」の横断幕も掲げられるなど大変な歓迎でした。

帰国後しばらく親類の家で生活していましたが、キクヨさんのために町営住宅が建設され、タンスやテレビなど身の回り品は全国からの志でそろえられました。日本での生活は、宮島や原爆ドームを見学し、さらに別府で開催された、部落解放第20回全国婦人集会の壇上であいさつするなど元気で安定した生活を送っていました。しかし3年目の冬を越したあたりから、体の調子が悪くなりはじめました。親戚や近所の人が見舞いや付き添いをしましたが、日に日にやせ細り、昭和51(1976)年5月3日、キクヨさんは静かにその一生を閉じました。77歳でした。

5 その後 ～人権の碑建立に向けて～

キクヨさんが亡くなられた後、その生き様や懸命に生き抜いた人生から多くのものを学ぼうとキクヨさんのお墓に多くの人が訪れるようになりました。しかし、お墓の周辺は雑草と竹やぶをかいくぐって行くような状況でした。また官民一体となった帰国促進運動に学びたいと現地での研修を要望する人も多く、お墓のある場所の周辺整備が急務となっていました。

そんな中、部落解放同盟大和支部からの要望を受け、平成4(1992)年度キクヨさんのお墓のある場所を人権公園とし、「人権の碑」を建立する事業がスタートしました。平成6(1994)年には表面に「人権の碑」の文字、裏面にはふるさとだいわの碑文を彫り込んだ人権の碑が完成し、平成7(1995)年5月10日に除幕式が開催されました。

- ★参考・引用文献
- ・大和町『人権の碑』記録集 ―キクヨさんはみつめる― 平成17(2005)年 大和町
 - ・からゆきさんおキクの生涯 大場 昇 平成13(2001)年 明石書店

人権相談

人権相談員が相談をお受けします。人権に関することやその他困りごとなどお気軽にご相談ください。

相談は無料で、秘密は守られます。

- ◇ とき 土・日・祝日を除く10:00～16:00
- ◇ ところ 三原市人権文化センター
- ◇ 電話 0848-66-1111



■ 人権文化センター略図

